

2006年 (平成18年) 5月22日 (月曜日)

(第三種郵便物承認)



正確な発表を目指し、評価を模擬体験する参加者

# 認知症 正しくケア

ぐんまアカデミー 前橋で総会と研修会

認知症の専門職がケア  
やりハビリ技術の向上を  
目指す研究会「ぐんま認  
知症アカデミー」(代表  
・山口晴保群馬大医学部  
教授)の第一回総会と研  
修会が二十一日、百三十  
人が参加して前橋市の群  
馬大医学部で行われた。  
十一月に研究発表会を開  
くことを決め、発表に向  
けた事例研究の方法を学

んだ。  
アカデミーは介護の  
現場で患者と向き合う医  
師や施設職員が、それぞ  
れ体験した事例の情報を  
共有し、ケアを向上さ  
せようと、昨年十二月発  
足。正しいケアの手法  
を福祉の現場に提言して  
いくことを目指してい  
る。  
今回の研修テーマは、

研究の進め方。「研究者  
と異なり、現場で実務を  
積み上げている会員に正  
確な発表をしてもらう」  
(山口代表)のが目的。  
症状の進み具合を診断す  
る「評価」の仕方やデー  
タをまとめる工夫が紹介  
され、参加者は評価の模  
擬体験をしながら熱心に  
学んでいた。

山口晴保が患者役で山上徹也さんが検者役